

授業科目名	教育原理	担当教員名	吉田 直哉
必修/選択	必修	開講学年・学期	1年 後期 (年間開講数 1講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位 (30時間)
施行規則に定める科目区分等	教育の基礎理解に関する科目-教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 保育の内容・方法に関する科目	授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	
授業の概要及び全体目標	教育の意義、目的について理解する。教育の思想と歴史の変遷について学び、教育に関する基礎的な理念・思想・理論・制度について理解する。教育実践のさまざまな取り組みや、生涯学習社会における教育の現状と課題について理解する。		
到達目標	<p>教育の意義、思想、制度、実践理論などについて、包括的に解説し、幼児教育者として、現在の教育の問題点について、自分なりに考察できるようになる。</p> <p>1-教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想</p> <p>(1)教育の基本的概念：教育の基本的概念を身に付けるとともに、教育を成り立たせる諸要因とそれら相互の関係を理解する。</p> <p>①教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。</p> <p>②子ども・教員・家庭・学校など教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係を理解している。</p> <p>(2)教育に関する歴史：教育の歴史に関する基礎的知識を身に付け、それらと多様な教育の理念との関わりや過去から現代に至るまでの教育及び学校の変遷を理解する。</p> <p>①家族と社会による教育の歴史を理解している。</p> <p>②近代教育制度の成立と展開を理解している。</p> <p>③現代社会における教育課題を歴史的な視点から理解している。</p> <p>(3)教育に関する思想：教育に関する様々な思想、それらと多様な教育の理念や実際の教育及び学校との関わりを理解している。</p> <p>①家庭や子どもに関わる教育の思想を理解している。</p> <p>②学校や学習に関わる教育の思想を理解している。</p> <p>③代表的な教育家の思想を理解している。</p> <p>2-教育原理</p> <p>(1)教育の意義、目的及び子ども家庭福祉等との関わりについて理解する。</p> <p>(2)教育の思想と歴史の変遷について学び、教育に関する基礎的な理論について理解する。</p> <p>(3)教育の制度について理解する。</p> <p>(4)教育実践の様々な取り組みについて理解する</p> <p>(5)生涯学習社会における教育の現状と課題について理解する。</p>		
テキスト	「コンパクト版保育者養成シリーズ・教育原理」石橋哲成編著 (一藝社)		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)		
成績評価の方法	授業へのコミットメント 10%、提出物(コメントペーパー、小テスト) 20%、定期試験 70%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	イントロダクション・教育学と人間学の諸概念	(1)-①,(3)-①	
第2回	教育の目的・意義に関する理念	(1)-①,(1)-②,(3)-①	
第3回	人間の成長・発達	(1)-①,(1)-②,(2)-①	
第4回	子ども観と教育観、教師-子どもの教育関係	(1)-②,(2)-①,(3)-①	
第5回	教育内容とカリキュラム：学習指導要領	(3)-②	
第6回	教育評価	(3)-②	
第7回	学習理論と教育方法	(3)-②,(3)-③	
第8回	日本の教育法・制度	(1)-②,(2)-②	
第9回	諸外国の教育制度	(3)-③	
第10回	日本の教育史①：近世から明治・大正	(2)-①,(2)-②,(3)-③	
第11回	日本の教育史②：昭和から平成	(2)-①,(2)-②,(3)-③	
第12回	西洋の教育史①：コメニウス、ロック、ルソー	(2)-②,(3)-②,(3)-③	
第13回	西洋の教育史②：ヘルバルト、デューイ、ブルナー	(2)-②,(3)-②,(3)-③	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第14回	現代の教職と家族・社会資源との関係	(2)-③
第15回	現代社会における教育の課題と展望	(2)-③
定期試験	筆記試験	